

# お知らせ（感染症）

保護者様

富士見保育園

保育園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。保育園入園児がよくかかる下記の感染症については、かかりつけの医師の診断に従い、証明書の提出をお願いします。なお、感染力のある期間に配慮し、保育園での集団生活に適応できる状態に回復してからの登園であるよう、ご配慮ください。

なお、登園のめやすは、子どもの全身状態が良好で、普段の食事がとれることが基準となります。

☆お子さまが伝染性の病気になった場合は完全になおしてから登園しましょう。

病名	主な症状	出席停止の期間	こんな余病をおこすこともあります
1 インフルエンザ	発熱、せき、くしゃみ、頭痛、咽頭痛	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで	気管支炎、肺炎 中耳炎ちくのう症
2 百日ぜき	発熱、夜間に激しいせき、粘りのある痰がでる	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終わるまで	気管支炎、肺炎
3 はしか(麻疹)	発熱、食欲不振、目・首・全身に発疹	解熱した後、3日を経過するまで	肺炎、結膜炎、 中耳炎、鼻カタル
4 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発熱、耳下腺(耳たぶ)の下のはれ	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで	女子で卵巣、男子は睪丸に変化が起こって不妊の原因になることもあります
5 風疹(三日ばしか)	発熱、発疹	発疹が消失するまで	
6 水痘(水ぼうそう)	発熱、顔・手・足・胸に赤い粟粒状の発疹	すべての発疹が痂皮化する(かさぶたになる)まで	膿疱疹
7 咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、のどの炎症、目やに	主要症状が消退した後、2日を経過するまで	慢性の腎盂炎になりやすい
8 結核	せき、痰、微熱、寝汗、だるさ等		
髄膜炎菌性髄膜炎	発熱、頭痛、嘔吐、意識障害等	医師が伝染のおそれがないと認めるまで	まひや知能障がいなどが残ったり、死亡することもあります
9 腸管出血性大腸菌感染症(O-157、O-26、O-111等)	下痢、腹痛、血便が様々な程度で現れる		
10 流行性角結膜炎	目やに、充血、腫れ、痛み等	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失し、感染の恐れがないと認められるまで	
11 急性出血性結膜炎(アポロ熱)	白目の充血など症状が強い結膜炎	感染力が強く、発症すると登園は停止となります。	
12 ヘルパンギーナ	突然の発熱、のどの痛み、のどに赤い発疹がで、次に水泡となる		
13 ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	発熱、嘔吐、下痢、腹痛等		
14 手足口病	発熱や手のひらや足の裏に小さな水泡、口の中に小さな口内炎等		
15 とびひ	細菌が皮膚に感染し化膿、水泡、かさぶた、痒み等	※医師による登園許可を受ける	
16 アタマジラミ	頭皮の痒み		
17 伝染性紅斑(りんご病)	風邪のような症状と顔面に紅斑がでる		
18 溶連菌感染症	発熱、のどの痛みいちご舌、嘔吐の後に一面の発疹		急性腎炎
20 その他の伝染病	マイコプラズマ肺炎、RSウイルス感染症、带状疱疹、突発性発しんなど	※発熱、嘔吐、下痢、腹痛等の症状がでたら、早目に医師の診断を受けてください	

※保育園は、低年齢のために学校保健法以外の感染症も含まれます。

※インフルエンザは発症後5日間、かつ解熱した後3日間は登園を控えてください。

(登園するときにお持ちください)

きりとせせん

## 証 明 書

富士見保育園 園長 殿

組 氏名

病名

発症日 平成 年 月 日

平成 年 月 日から登園してもよいことを証明いたします。

平成 年 月 日 医師氏名